

JAZA 加盟園館におけるホウシャガメ(*Astrochelys radiata*)の個体数変動

大滝侑介
(横浜市立野毛山動物園)

(公社)日本動物園水族館協会では、2006 年よりホウシャガメ (*Astrochelys radiata*) の国内血統登録簿を作成し個体情報の登録ならびに各種情報の収集、分析を行っている。2022 年(12 月末時点)で国内血統登録簿にて生存している個体はオス 65 頭、メス 59 頭、性別不明 92 頭、計 216 頭であった。すでに死亡している個体などを含むと 325 頭のホウシャガメが血統登録簿に記載されている。導入された個体は 218 頭、うち CITES 違反の二次収容と警察摘発の緊急保護個体は 180 頭と全体の約 80%にのぼる。繁殖については 2009 年より孵化が確認され、2022 年末までに 8 施設で 107 頭孵化し 2022 年(12 月末時点)で 92 頭生存している。JAZA 加盟園館の個体増加については、当初 CITES 違反による二次収容個体および警察押収による緊急保護が主だったが、JAZA 加盟園館で繁殖が見られるようになってからは個体増加の割合の多くは繁殖子が占めるようになってきた。